

問 11 100/200 V 単相 3 線式配電方式に関する記述として、誤っているものを次の  
(1)～(5)のうちから一つ選べ。

- (1) 単相 200 V 負荷の使用が可能である。
- (2) 配電容量が等しい場合、100 V 単相 2 線式配電方式より電線の銅量が少なくてすむ。
- (3) バランサは、電源の近くに設ける方が効果が大きい。
- (4) 負荷の分布によっては、負荷電圧が不平衡になることがある。
- (5) 中性線が断線すると、異常電圧を発生することがある。